

鳥取 YEG 通信



発行：令和元年5月15日
鳥取商工会議所青年部
総務広報委員会

鳥取商工会議所青年部通信

5

May 2019

2019年度 会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部
会長 石畑 美幸
株式会社 富士ユニコン

木々の緑が目まぶしく、心若やく季節となりました。新芽のように我々もパワーをどんどん蓄えて、事業の企画・運営を行ってまいりたいと思います。

4月10日に4月例会・定期総会を開催し、本格的に今年度がスタートしました。鳥取YEG担当の英副会頭にもご出席いただき、ご自身の在籍中の思い出話を織り交ぜながらの激励の言葉を頂戴し、メンバー一同、地域のために活動する意義を考えることができたと思います。定期総会では平成30年度の事業報告・決算、平成31年度の事業計画・予算等が審議されました。総会後は各委員会の委員長が熱い思いを発表し、その各委員長長の意気込みから活発な事業展開になると感じています。

16日には倉吉YEG総会懇親会、24日には米子YEG総会懇親会へと出席させていただき、鳥取県連の各単会メンバーと交流させていただきました。米子YEGは今年度40周年、倉吉YEGは次年度中国フロック大会開催となります。鳥取県連のつながりをより強固にし、県全体の

機運を高めてまいりたいと思っております。

23日には東京で開催された全国会長会議へ参加しました。全国のYEGには延べ34000人を超えるメンバーが在籍しておりますが、鳥取県以外の事業運営などをお聞きする非常に有意義な会議です。この度は日本商工会議所の三村会頭の講話、日本YEG田中会長より所信表明、事業計画の説明があり、その後意見交換に参加、直面する課題について熱く語り合いました。ディスカッションのテーマは「YEGブランドディングについて」となっており、各単会の取り組みをお聞きしました。当会で今後事業を行う上で、地元に必要なとされる青年経済団体となるには何が必要なのかをメンバーそれぞれが考え、企画・実践をしていくことが必要なのだと痛感しました。

地域経済を担うリーダーとして、鳥取YEGで何を行うべきであるのか、今回の会長会議で学び吸収してきたことを当会にフィードバックできよう努めていきたいと思っております。

令和元年がスタートし、新たな時代が始まりました。私たち鳥取YEGは培ってきたものを大切にしながら、青年経済人としてチャレンジすることを忘れず、地域のために、皆様の笑顔のために、活発な事業運営を行ってまいります。地域事業へも積極的に参加してまいりますので、今後とも応援、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

4月例会・定期総会

日時 平成31年4月10日(水)
19:00~21:50
場所 鳥取商工会議所 大会議室

今年度最初の例会と定期総会を4月10日(水)に開催しました。100人近いメンバーが集まり、YEG担当副会頭である英副会頭にもご出席いただき、例会が始まりました。石畑会長から「先日、桜の園で花見交流会を開催した。美しい桜のように、YEG事業も花を咲かせよう。今年度スローガン『絆を力に！』仲間とともに、次世代の未来のために！」のもと、同じ目標を持った仲間と鳥取の未来を思い、語らい、YEG活動を通じて絆を作っていくことが、今後5年のビジョンにもある『鳥取力』につながる。メンバー一丸となり、精力的に活動していこう。」と本年度への思いを込めた言葉がありました。

続いて英副会頭からは「青年部の価値」とは卒会があるから頑張れる、卒会は青年部にしかない特徴」と青年部に対する思いを語られる、今年度青年部へは「石畳を畑に変えてしまおうような強い行動力と強い意志で頑張ってください」と激励の言葉をいただきました。その後は、会長バッジの引き継ぎ、会長所信表明、四役監事紹介とつぎ、4人の新入会員が紹介されました。今年度は会員154人での船出です。

定期総会では様々な質問、意見があり2時間近い非常に熱量のあるやりとりがなされ、議案はすべて可決承認されました。最後に、各委員長から今年度の委員会活動方針が高らかに発表され、意気揚々とした雰囲気の中、閉会となりました。

総務広報委員会 田中将樹

4月例会・定期総会



石畑会長

4月例会・定期総会



英副会頭



鳥取YEGメンバー

因幡千本桜お花見交流会 & 記念撮影昼食会

4月3日(水)、ヴェルージュにてお花見交流会を開催しました。新年度早々の事業となりましたが、多くのOB諸兄をお迎えして現役メンバーと懇親を深めさせていただきました。

現在の地に因幡千本桜の植樹が始まった経緯の説明から始まり、平成28年度から再開した植樹の様子や現地の写真を紹介しました。そしてOBの皆さまから千本桜の思い出などをお話いただき、余興はテール対抗の会長特別賞争奪千本桜クイズを行い、大いに盛り上がりました。楽しい時間の中で、伝統事業である因幡千本桜の歴史と経緯を学び、諸先輩方がご尽力された事業の偉大さを実感することができ、鳥取YEGへの誇りと地域に対する責任を再認識する場となりました。

また、4月5日(金)、満開となった因幡千本桜のもと、メンバーで昼食をいただきながら花見を楽しみました。当日はたくさんのお見物客が桜の美しさを楽しまれている光景を目の当たりにすることができ、この地が市民の憩いの場として愛されていることを実感するとともに、今後の事業展開と活動に対する意義を再認識できた貴重な時間となりました。本年度も地域活性化のため、一丸となって尽力することを胸に刻んだ一日となりました。結びとなりますが、この場をお借りいたします。ご参加いただきましたOBの皆さまに心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

総務広報委員会 委員長 田淵裕章



昼食会に参加したメンバー



交流会に参加したメンバー

委員会活動方針

■総務広報委員会

1. 基本方針
本会の各事業を円滑に行うため、関係各所と連携し、運営に関わるすべての活動を行う。
2. 事業計画
対内組織運営の検証(会員向けアンケート実施等)
他単会の役員会・理事会定例会の視察(3回程度)
他単会の組織運営の仕組調査及び意見交換会の実施
組織運営素案上程及び試験運用実施
次年度への組織運営引継ぎマニュアル資料作成

■未来創造委員会

1. 基本方針
明日の鳥取の未来を担う子ども達、若者達の未来を創る事業を行う。
また会員に対して、未来を学ぶ場所を提供する。
2. 事業計画
鳥取の高校生に向けた、仕事に対する意識を向上させる事業の実施
鳥取の大学生に向けた、鳥取定住のための地元企業の魅力や鳥取で暮らす意義を学ぶ事業の実施
県外に住む鳥取出身の大学生に向けた、Uターン就職のための事業の実施
講演会やティンカッションなど、会員がこれからの教育と地域の在り方を学ぶ事業の実施

■共創提言委員会

1. 基本方針
地域の未来につながる提言を、若手経営者の視点で行政に対して行う。
2. 事業計画
提言内容に関わる視察(2回程度)
日本YEG事業への参加(郷創塾等)
産官学で連携したオープン委員会の開催
行政へ提言書作成及び提出

■星取コンテンツ委員会

1. 基本方針
会員企業の更なる発展のため、経営意識の向上と夢への挑戦を応援する。
2. 事業計画
ビジネス研修会(9月、10月、11月例会)
星取県事業への積極的取り組み
会員企業間のビジネスマッチング

■鳥取力魅力発見委員会

1. 基本方針
コミュニティのまち鳥取を目指し、地域の魅力を内外に発信する。
2. 事業計画
鳥取三十二万石お城まつりへの参加
鳥取まちなかコミュニティブレイス事業(まちこの活用)の実施
袋川を育む会事業など地域事業、親会事業(砂時計計画など)への参加協力

■組織力・交流委員会

1. 基本方針
会員間の親睦を図り、YEG活動に楽しく意欲を持って参加できる環境を創る。
2. 事業計画
組織力強化
会員増強に向けた働きと事業の実施
他委員会との交流の企画・事業の実施
他青協の交流を考えた事業の実施
第3回強肩王、全国区の大会への浸透と地元も充実した参加へ

■全委員会共通事項

- 例会全体事業出席率の向上に向けた取り組み
- 今後5年間のビジョン・活動指針を軸とした事業運営
- 会員増強への取り組み
- 所属委員会以外の事業への積極的参加
- 親会事業への協力参加

新入会員



家納 東詩君
(かのうとうし)
事業所名 木工かのう
所属委員会 鳥取力魅力発見委員会



森本 治代君
(もりもと はるよ)
事業所名 (株)鳥取マリーナ
所属委員会 共創提言委員会



森本 剛君
(もりもと とう)
事業所名 森本興産(株)
所属委員会 組織力・交流委員会



池内 哲也君
(いけうち てつや)
事業所名 (株)アドバンスコーポレーション
所属委員会 星取コンテンツ委員会